

第4期環境自主管理活動 調査結果

日本繊維板工業会

1. 第4期環境自主管理基準・目標値（2020年までに目標を達成する）

- ・二酸化炭素排出量削減：2%低減（2015年基準）
- ・化学物質対策・ホルムアルデヒド排出量の低減：基準値維持（2015年基準）
- ・廃棄物の減量化（廃棄物総排出量）：4%低減（2015年基準）
- ・建設解体廃木材の利用：利用率 63%
- ・間伐材・林地残材の利用：利用率 18%
- ・SDSによる安全性の管理推進：全品目対応
- ・合法伐採木材等の利用の促進：全品目対応

2. 調査内容

調査対象：15社18工場・事業所（工業会会員の国内工場全て）

回答：15社18工場・事業所

調査対象期間：毎年1月～12月

調査項目：二酸化炭素排出量、ホルムアルデヒド排出量、廃棄物総排出量、原料における建設解体廃木材の使用率、原料における林地残材・間伐材など未利用木材の使用率

3. 調査結果

第4期（2016～2020年）調査結果の概要は以下の通り。なお、各項目の評価記号は次による。

- ◎ 目標値達成
- 2015年基準に対して改善があった
- － 2015年基準に対して改善が表れなかった

- ・二酸化炭素排出量削減：◎
- ・化学物質対策・ホルムアルデヒド排出量の低減：◎
- ・廃棄物の減量化：－
- ・建設解体廃木材の利用：◎
- ・林地残材の利用率の向上：○

以上